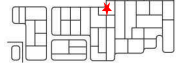


ホーリーバジル農園（戸川 隆）

視察受入れ：要相談

報道機関受入れ：要相談

福井県
坂井市



○ホーリーバジル農園（戸川 隆）は、ホーリーバジルの生産・加工・販売に取り組んでいるが、自身も障害を持つことから障害者の自立支援に大きな関心があり、また手間のかかるホーリーバジルの生産・加工の労働力確保のため、A型及びB型就労継続支援事業所と連携し、令和元年より本格的に農福連携による施設外及び施設内就労に取り組むことで、障害者の就労拡大を図る。

基本情報

- 所在地：福井県坂井市
- 団体名：ホーリーバジル農園
- 取組パターン：連携型
- 選定表彰：-
- 主力商品：
 - ・ハーブティー（ホーリーバジル）
 - ・OEMでのホーリーバジルを使用した石鹸、パスタ



取組の概要

- 経営面積は60a程で、ホーリーバジルの生産・加工・販売に取り組む。
- B型就労継続支援事業所と連携し摘芯・収穫・葉ほぐしなどの施設外就労やA型就労継続支援事業所に検品や計量ティーパック詰め作業などの施設内就労を委託。
- 労働力は、自身の外アルバイト2名、施設外就労は週1日で、指導員2名と障害者6～8名体制で、休憩時間を含め6時間の作業時間としている。
- 賃金は成果物に対する出来高払いとしているが、年間をとおしてコンスタントな作業計画を作成することが課題でありプレッシャーも感じる。また、急なキャンセルが起こるため当初の計画どおりに作業が行えなくなることも課題となっている。
- 作業効率を上げるため、指導員への説明は、幾度と作業を見せたり動画を活用して工夫をしている。

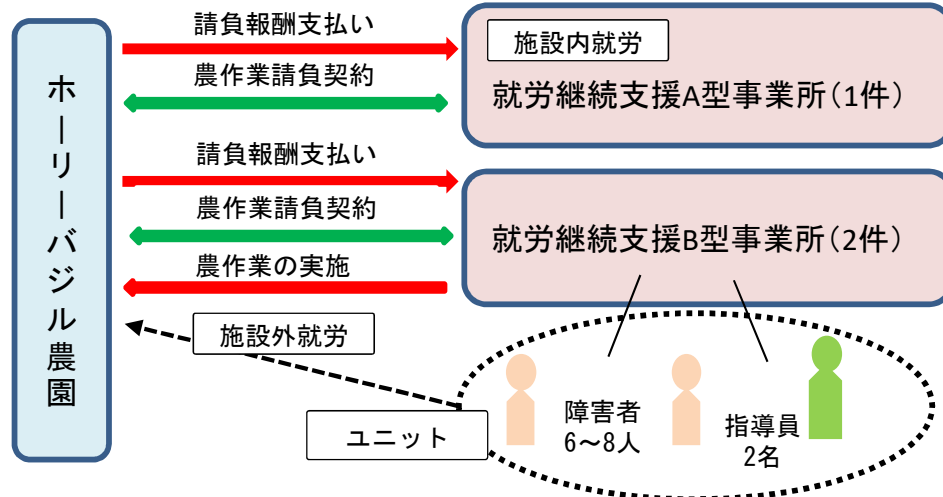


摘芯作業



収穫作業

体制図



取組の成果

- 作業の細分化を図り、主に簡単な作業は施設外就労でB型就労継続支援事業所に、検品や計量ティーパック詰めなどの少し高度な作業は施設内就労でA型就労継続支援事業所に委託することで作業効率が良くなっている。
- 農福連携で労働力が確保できたことで、今年は例年以上のハーブティーの売り上げを確保できた。また、他社からも原料としての引き合いも増加している。

所在地 ▶ 福井県坂井市坂井町上新庄 5 4 - 2 4

連絡先 ▶ TEL & FAX: 0776-51-8672 E-mail: rxqck078@ybb.ne.jp

ウェブサイト ▶ <https://selectionfukui.com>

【取組のプロセス】

農園スタート
農福連携に向けて始動

2017年～

きっかけ

○自身も病気が原因で障害者となったことから、障害者の自立支援に関心を持つようになり、ハーブティーの商品化までの作業は細分化できることから、農福連携にて農園の作業をいっしょに行えないか考えた。

農福連携について相談

○農園を開始したことを契機に、当初は自身で福祉事業所を探したり、市へも相談に行ったが、上手くいかず具体的な進展はなかったが、その後知人の紹介で相談に行った事業所で作業を引き受けてもらえることとなった。



洗浄作業

社会福祉法人
との協議

2018年～

作業内容等の協議及びおためし施設内就労

○1年をかけて、まずは作業の細分化と委託作業についての協議を重ね、お試的に施設内就労でできる作業の依頼を行った。
その外には、安全面での責任の所在や人件費についても話し合いを継続した。



葉ほぐし作業

農作業請負契約
を結びまずは施設内就労開始

2019年～

農作業請負契約を締結し本格的に農福連携を開始

○当初は施設内就労から開始し、その後圃場での作業などは施設外就労にて農福連携に取り組むようになった。作業によっては健常者並みの能力を発揮してくれる障害者もあり作業効率は良く、商品の販売量も向上している。



ティーパック詰作業

今後の
展望

障害者の自立支援の継続

○農福連携での施設外就労の受け皿が少ないと感じており、将来的には農園を福祉事業所として法人化し更に障害者の自立支援を行っていきたい。
○ハーブティーの原料としての取引依頼が増加してきており、労働力の確保ができれば規模拡大も検討したい。



ホーリーバジル
ティー製品